

2018・3・19

お世話になっております。

週明けの6日目の報告をさせていただきます。

今週は先週より30分ゆっくりの9時集合です。

昨日は1日ホストファミリーとの週末を過ごし、1日ぶりに会う仲間たちにホッとした表情を浮かべていました。朝から生徒たちの会話は尽きないようでした。

湖の散策、教会でのお祈り、親戚や友達への訪問、ショッピング、なかにはカナダとアメリカの国境まで連れて行ってもらった生徒もいたようで、ホストファミリーと良い時間を過ごしたようです。また生徒の日記からも楽しい時間を過ごしたというのが伝わってきました。

さて、今日からユニティクリスチャンスクールでの英語の授業になります。

3クラスに分かれます。1はシャロン先生、2はマシュー先生、3はミッシェル先生です。去年も教えてくださった先生、日本で5年以上英語を教えていた先生とベテランの先生ばかりで頼もしいです。また土曜日に一緒にバンクーバーへ出かけた14名のカナディアンバディ。バディは4〜5人ずつ各クラスに入って生徒達と一緒に授業を受け、アシストをし、生徒が分からない授業があったとしても、近くで教えてくれたり、手伝ってくれたり、生徒がもっと身近にもっと英語を使える環境になっています。

午前中は休憩をいれながらの11時までが英語の授業です。英語で挨拶や自己紹介のところからスタートしました。生徒も真剣に耳を傾けていました。また座学だけではなく英語のゲームやクイズなども、とりいれていきます。

学校でランチをとったあとスクールバスに乗り込み、30分弱で **Great Blue Heron Nature Reserve** に到着です。お天気は曇りです。ラッキーなことに毎年のように降る雨は、今日降りませんでした。（今回はここに来てからまだ一度も傘を開いていません！）

始めにスタッフから挨拶と説明がなされ、そのあと2つにグループが分かれ、ネイチャーウォークをしたり、**Blue Heron**（あおさぎ）観察などをしました。大きな音には敏感だということで注意して進み、木の上を見上げると、巣やアオサギのいるのが見え、生徒たちは、「鶴？何の鳥？」と頭を傾げる生徒もいました。「ブルーヘロン、あおさぎ」と言われ、納得している生徒も見受けられました。

そしてブラックベリーの除去。このブラックベリーは100年以上前にヨーロッパから持ち込まれたようで、どんどん生い茂り、生命力が旺盛で四方八方にツルを伸ばし、また根も広がり、他の植物を脅かすという非常に厄介だそうです。このトゲに絡まらないように切る作

業のお手伝いもしました。大きなスコップを片手に土を掘り越しながら、ちょこちょこ顔を出すミミズをみては、びっくりする女子生徒。生え茂っているブラックベリーのトゲに絡まらないように切る作業をする生徒。少し飽きてきて手より口の方が動いていた生徒。でも、生徒皆、カナダの自然の為のお手伝いをしてくれました。

今年もスタッフから「ボランティアをありがとう」と声をかけられていました。先生やバディと一緒にボランティアをするだけでなく、交流をはかりながらもカナダの自然について考えさせられる良い時間となりました。また生徒はバディや先生方と積極的に話す姿も見ることができ、良かったです。どうやら土曜日のU B Cがとても刺激になったようです。今回のプレゼンテーションは、生徒達お互いにとっても良い刺激になったようで、「良いプレゼンだった」「難しい質問を全て答えていてかっこよかった」「僕たちのプレゼンもっと修正してU B Cでプレゼンをしたかった」「あのプレゼンを見てもっと英語を勉強しようと思った」というコメントを半分以上の生徒が日記に書いていました。また、案内してくれたU B Cの生徒から聞いた大学生活、英語の事、そして日本とは全く違うここカナダでも生活の事、全てが新鮮で刺激になったようです。また、生徒たちは少しずつ帰国が近づいていることも感じており、生徒の日記からは「ホストファミリーのおもてなしに感謝」「今お世話になっているホストファミリーともう1週間一緒にいたい」「ちょっとしたことからホストファミリーの優しさを感じる1日だった。それと同時に自分の親への感謝の気持ちもわいた」と書いてある日記もありました。

また、生徒達のノートにアドバイスを書いて下さり、ずっと近くでさりげなく声をかけ、一人一人を気にかけて見守ってくださっている大嶋先生、平井先生。日記のコメントを密かに楽しみにしている生徒も沢山いて、生徒にとっても非常に心強いと思います。残りあと数日となりました。明日は生徒全員が一体となって行うさよならパーティです。ホストファミリーにしっかりと感謝の気持ちを伝えられるよう一丸となって頑張ってもらいたいと思います。

以上が本日の報告となります。
宜しくお願い致します。

アイエスエイ 添乗員 原田







